

府中市立府中第九小学校

地域を支えてくれている方にお花を贈ろう

府中九小の周りには、府中刑務所や府中消防署栄出張所、老人ホームがあります。いつも九小に協力していただき、児童を大切にしてくれている皆さんのために、生活委員会の児童が栽培をしたお花をプランターに寄せ植えし、感謝の気持ちと共に



にお渡ししました。各施設の皆様にはとても喜んでいただけて、早速、刑務所と消防署の前にプランターが飾られ、また老人ホームで

は入所者の方々が毎日、丁寧にお世話をしてくださったそうです。お花を介して九小の児童と地域の皆さんのつながりを強めることができました。今年も更にグレードアップしたプランターを用意しました。毎日せっせと水やりをしながら春を待ちます。



アラブの音楽ってどんなもの？

府中九小でも全学年の児童が音楽の学習をしています。授業や普段の生活を通して、日本の音楽や西洋の音楽に触れる



機会はたくさんありますが、アラブの音楽に触れる機会はほとんどありません。そこでアラブ音楽の研究をしている専門家の方を講師に招いていただき、アラブの音楽と文化について、5年生の児童を対象にした特別授業をおこなっていただきました。実際にアラブの国々を訪れた際に見たものや触れたことなどについて、写真を交えながら紹介してもらったのですが、特にアラブの音階は普段、使っている音階とは違って、それが独特のメロディーになっているということが分かりました。授業の最後には、ギターによく似た楽器「ウード」や、アラブで広く使われている打楽器など、実際に楽器に触れ、独特の音色も楽しむことができました。



、5年生の児童を対象にした特別授業をおこなっていただきました。実際にアラブの国々を訪れた際に見たものや触れたことなどについて、写真を交えながら紹介してもらったのですが、特にアラブの音階は普段、使っている音階とは違って、それが独特のメロディーになっているということが分かりました。授業の最後には、ギターによく似た楽器「ウード」や、アラブで広く使われている打楽器など、実際に楽器に触れ、独特の音色も楽しむことができました。

、5年生の児童を対象にした特別授業をおこなっていただきました。実際にアラブの国々を訪れた際に見たものや触れたことなどについて、写真を交えながら紹介してもらったのですが、特にアラブの音階は普段、使っている音階とは違って、それが独特のメロディーになっているということが分かりました。授業の最後には、ギターによく似た楽器「ウード」や、アラブで広く使われている打楽器など、実際に楽器に触れ、独特の音色も楽しむことができました。



学校の中も周りもきれいにしよう

創立66周年を迎えた府中九小の校庭には、大きな木がたくさん生えています。それらの木々の緑は子供たちの心を和ませ、夏にはたくさんの木陰をつくって日差しを遮ってくれています。しかしその分、秋にはたくさんの落ち葉が落ち、校庭の隅にはかなりの量の落ち葉が溜まってしまいます。そこで



毎年、九小では「美化デー」として、校庭の美化活動を行っています。毎年、保護者の皆様にもご協力をいただいているのですが、今年度は雨のため日程が順延となり、児童のみの美化活動でした。笹ぼうきと熊手を使って、たくさんの落ち葉が集まります。大きな袋もあつという間にいっぱいになってしまいました。今年は90リットル入りの袋で30袋以上の落ち葉が集まりました。みんなの力で学校をきれいにすることができました。



毎年、九小では「美化デー」として、校庭の美化活動を行っています。毎年、保護者の皆様にもご協力をいただいているのですが、今年度は雨のため日程が順延となり、児童のみの美化活動でした。笹ぼうきと熊手を使って、たくさんの落ち葉が集まります。大きな袋もあつという間にいっぱいになってしまいました。今年は90リットル入りの袋で30袋以上の落ち葉が集まりました。みんなの力で学校をきれいにすることができました。

今年度は雨のため日程が順延となり、児童のみの美化活動でした。笹ぼうきと熊手を使って、たくさんの落ち葉が集まります。大きな袋もあつという間にいっぱいになってしまいました。今年は90リットル入りの袋で30袋以上の落ち葉が集まりました。みんなの力で学校をきれいにすることができました。

今年度は雨のため日程が順延となり、児童のみの美化活動でした。笹ぼうきと熊手を使って、たくさんの落ち葉が集まります。大きな袋もあつという間にいっぱいになってしまいました。今年は90リットル入りの袋で30袋以上の落ち葉が集まりました。みんなの力で学校をきれいにすることができました。



障害のある人たちの生活を知ろう

市内にある社会福祉法人の協力をいただき、高学年を対象とした障害者理解のための特別授業をしていただきました。映画監督の方に作成していただいた紹介映像で、事前に福祉作業所学習し障害をもった人々の生活について理解を深めました。そしてその後、実際に障害者の方と会い、福祉作業所で行っている製造業務（パン・缶バッジ）を体験しました。協働で作業する中で、児童たちは障害者の方から指導を受ける場面もあり、障害のある人たちの生活を垣間見、多くのことを学びました。これからは今までとは違った視点で、障害のある人たちと関わることができるようになれそうです。



市内にある社会福祉法人の協力をいただき、高学年を対象とした障害者理解のための特別授業をしていただきました。映画監督の方に作成していただいた紹介映像で、事前に福祉作業所学習し障害をもった人々の生活について理解を深めました。そしてその後、実際に障害者の方と会い、福祉作業所で行っている製造業務（パン・缶バッジ）を体験しました。協働で作業する中で、児童たちは障害者の方から指導を受ける場面もあり、障害のある人たちの生活を垣間見、多くのことを学びました。これからは今までとは違った視点で、障害のある人たちと関わることができるようになれそうです。



市内にある社会福祉法人の協力をいただき、高学年を対象とした障害者理解のための特別授業をしていただきました。映画監督の方に作成していただいた紹介映像で、事前に福祉作業所学習し障害をもった人々の生活について理解を深めました。そしてその後、実際に障害者の方と会い、福祉作業所で行っている製造業務（パン・缶バッジ）を体験しました。協働で作業する中で、児童たちは障害者の方から指導を受ける場面もあり、障害のある人たちの生活を垣間見、多くのことを学びました。これからは今までとは違った視点で、障害のある人たちと関わることができるようになれそうです。

市内にある社会福祉法人の協力をいただき、高学年を対象とした障害者理解のための特別授業をしていただきました。映画監督の方に作成していただいた紹介映像で、事前に福祉作業所学習し障害をもった人々の生活について理解を深めました。そしてその後、実際に障害者の方と会い、福祉作業所で行っている製造業務（パン・缶バッジ）を体験しました。協働で作業する中で、児童たちは障害者の方から指導を受ける場面もあり、障害のある人たちの生活を垣間見、多くのことを学びました。これからは今までとは違った視点で、障害のある人たちと関わることができるようになれそうです。

